



授業の見所

Google Jamboardを活用して

- ①機器やアプリについてまとめたレポートを発表する。②意見交流をする。

つかむ	追究する	まとめる
✓	✓	

<本時のねらい>

ハードウェアやソフトウェアなどのコンピュータに関わるものの役割について知り、それらが社会にどのような影響を与えているか考えよう。

【つかむ】作成したレポートを発表する (Google Jamboard)

T : 前時にまとめた「私が調べた機器やアプリ」について各班で発表しよう。メリットやデメリット、それによって生活がどう変わったかを、考えながら行いましょう。

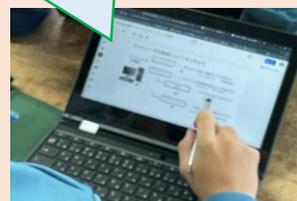
S1 : いろいろなところでコンピュータが使われ、用途に応じたアプリがあるんだな。ファーストフードの配達もスマホとアプリがあれば、注文が簡単にできて便利だね。お店も自動で注文を受け付けているからわかりやすいんだね。

Google Jamboardを活用し、前時に30分程度で仕上げたレポートを、本時の冒頭で発表しました。追究活動に向けて、**生徒一人一人が視点を広げることができました**。手書きだと時間がかかるレポート作成も、**ICT端末を使うと短時間で見栄えよく仕上げるのが可能**です。



【発表の様子】

【プラスポイント】
プリントの穴埋め問題をJamboardを使って



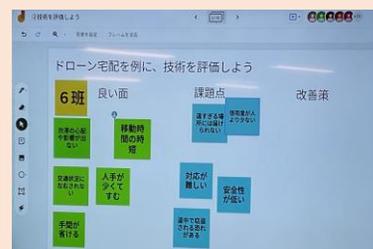
【追究する】意見を出し合い、話し合う。 (Google Jamboard)

T : 「ドローン」を例に、ハードウェアやソフトウェア（アプリ）について、必要なものを挙げ、その発展がもたらす良い面や課題点、改善策について各班で話し合ってみよう。

S2 : 良い面は人手が少なくて済むことかな。

S3 : 課題点は人が届けるより信用度が少ないことだと思う。

Google Jamboardの**付箋を活用し**、「良い面」「課題点」についてまずは**班員各々が意見を出しました**。その後、**班で話し合いながら**、意見を整理し、どのような「改善策」があるか相談しながら考えました。



【班内での意見交換中の画面】

(全体共有の場面で、出された意見を取り出しながら)

T : 課題点の中で、「ドローンの衝突事故を防ぐためにセンサーを付けて衝突回避プログラムを組む」とあったけど、他にも改善することはあるかな？

S4 : ドローンに関する法律を作って管理していくことが大切だと思います。

Google Jamboardの各班の画面を大型TVに提示し、**全体で共有**しました。また、**教師は意見に対して問い返しをしながら**、**生徒の考えを深めて**いきました。



【全体で共有している様子】

技術・家庭科【技術分野】では、**Google Jamboard**をノートとして使用し、**プリント学習・レポート作成・話し合い**にと幅広く活用することに積極的にチャレンジしていました。